
HUNTER × HUNTER 金色の狩人

フラスコの外の巨人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

HUNTER×HUNTER 金色の狩人

【Nコード】

N1293BA

【作者名】

フラスコの外の巨人

【あらすじ】

気付けば自身の知らない世界に迷い混んでいた主人公。生き残るには余りにもシビアな現実。自身に有るのは少し優遇されたスタート地点にわずかばかりの才能に運。

さあ、金色の髪を靡かせながら主人公はこの世界に何を思い何をするの？

みたいな感じにしたいなあ、と思いつながら駄文製造機の作者が送る

無感動と勘違いな小説とはいえない何か。

生誕の日（前書き）

「生まれるのはやさしいが、人となるのは難しい」
フィリピンの諺

作者は赤ちゃんの誕生何かやそれを経験した親たちの感情なんかは知らないですし、分からないので、これは妄想です。

間違っただけでも「この無知がwww」と笑ってくださればいいので、信じないでくださいな。

生誕の日

苦しい。苦しい。瞼が開かず、息も出来ない、そして身体は何かに
圧迫されたような感じを受けながら回転している気がする。

確か俺は、高校の同窓会で……。そう、余り飲めない酒を飲んで、
気持ち悪くなってトイレに駆け込んだ筈だ。

そこからの記憶が無いな。しかし、今までの人生普通だったな……。、
何て感慨に更けていると、まあ現実逃避だが、何か白い光を感じた。
そして、窮屈な何かから解放され、呼吸をするため口を開いた。そ
こから、自身の意思とは無関係に腹から吐き出したような泣き声
が出てきて、驚いた。

それに、今まで必死で気づかなかったが、どうやら俺は誰かに抱き
抱えられているらしい。自慢じゃないが、身長が180センチはあ
った俺を抱き抱えるなんて、どこのアンチエインのオリバーさんだ
なんて余裕の出来た俺は考えてみたりしていた。

いきなりの黒から白、たぶん闇から光へ移動して開けられなかった
目が、光に馴れたお陰で開いた。未だ霞がかかったように視界はぼ
やけているが、一応は見える。ベッドの上で俺を見ている大きな女
の人に、その女の人の手をとって此方を見ている大きな男の人、そ
して、その人達を見ているらしい同じような物を着ている大きな女
の人たちをだ。

あれ？皆大きすぎやしないか……。いや、違う。確かに俺から見た

ら大き過ぎるが、もし彼らが異常に大きいのだとしたら身長に關係ない視界に映るテレビや植木鉢何かはちっちゃく感じる筈だ。

しかし、俺には大きく感じられる。つまり俺が巨人の世界にでも迷ったか、俺が縮んだか、あるいは両方の異常事態に遭遇した、と考えられる。

……馬鹿馬鹿しい。そんなことはあり得ないだろう。ファンタジーとコナンの読みすぎだろう俺。結局夢なんだよ。そんな異常事態が起こるのは、本の中と夢の中だけ、いやお伽噺にも有るか……。まあ現実には起こらないって話だ。

そう、丸まって動かない手足も、切られたようなへそから出た紐も、嬉しそうに笑う彼らも、抱き締めあつて泣きながら笑う男女も夢なんだ。決して俺が赤子で、今産まれてきたような感じだなあ、何て思いもしないし笑えない。

ああ、何でやまないんだ？俺の泣き声、それに何で笑ってるんだ彼らは？

……それにしても眠いなあ。どう……なってるんだ……俺の……自律神経……。

生誕の日（後書き）

因みに主人公が考えている間ずっと彼は泣いています。作者の中では。

また、視界がぼやけているにも関わらず、彼ら（まあ、両親です）が笑っているように思ったのは、雰囲気です。なんとなくで、人は周囲の空気を敏感に察知して真面目になったりふざけたり出来るので、そう描写しました。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1293ba/>

HUNTER×HUNTER 金色の狩人

2012年1月3日03時49分発行